

# ひゅ〜まん

秋田県北部男女共同参画センター

開館時間

平日 9:00~21:00

土日祝 9:00~17:00

休館日

木曜日・年末年始(12/29~1/3)

## 開催報告①

### 男性の家事・育児と仕事との両立を促進するためのセミナー パパと子どものSTEP BY STEP

2023.8.5(土)

10:00-12:00

圓福寺(鹿角市)

本格的な暑さがやってきた8月のはじめ、男性たちが家事・育児への積極的な参画に繋げるため、3名の講師をお迎えし開催しました。ベビーマッサージは鈴木美紀さん(ロイヤルセラピスト協会スクールりん)、命の尊さのお話を伊藤泰裕さん(圓福寺住職)、薬膳精進料理から子供の食については伊藤静さん(ねこのお家代表)とスタッフの皆さん。子育て真っ最中の方、もうすぐ親になる方など、11名が参加し、3名の講師が伝える言葉一つ一つを受け取っていました。

この瞬間は今しかない。後悔しないように「今」を大切に。

講師の鈴木美紀さんは、ベビーマッサージを通じて子どもとのスキンシップを大切にしてほしいとお話くださいました。手や足などをはじめ、赤ちゃんの身体全体を満遍なくマッサージしていく中で、しっかり子供を見ること、見つめ合う時間を大切にしてほしい。大変なこともたくさんあるが、あの時もっと触れ合っておけば…と後悔しないよう、今を大切に。ギュッと抱きしめてあげてくださいとエールを送りました。



当たり前の反対は・・・？

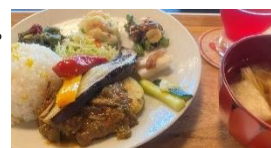
この世に生まれた命をどう守っていくか、次世代へどうバトンを繋いでいくか、命の大切さを説く「命のバトン」。会場である圓福寺の住職伊藤泰裕(たいゆう)さんは、日々の生活の中で様々な事が当たり前になってしまっていないですか？パートナーへ「ありがとう」の気持ちを伝えていきますか？自分が過去にそうしてもらったように、誰かに返していきましょと、住職として死に関わる中で感じている、人の繋がりについて話していただきました。

当たり前の反対は有り難うでした^^



少し早い昼食は薬膳精進料理をいただきました。伊藤静さんにはナスやトウモロコシ、パプリカ、長芋など野菜をふんだんに使い、身体にも心にも優しい料理を提供していただきました。

子育てに忙しい中でも、人の身体を作る食事に、目を向け、気を遣ってみてほしい。と、親の健康、子どもの健康についてお話くださいました。



身体に沁みるとはこのこと！

団体・グループ活動支援のための研修会  
**貧困から考えるジェンダー平等**  
 -わたしたちが知り、考え、行動できること-

2023.8.11(金)  
 13:30-15:30  
 秋田県北部男女  
 共同参画センター



貧困をテーマにした男女共同参画の講座を開催しました。講師は秋田県出身埼玉県在住の加藤岳さん（国際協力団体 プログラムマネージャー）をお迎えしました。開発途上国の国際支援をしている中で、実際に見てきたそれぞれの国の現状をお伝えしていただきながら、貧困とはなんなのか？自分たちは何が出来るのか？を問いかけました。

4つのグループをクルーズ船に例え、何個かの課題について話し合い、同じ船の乗組員と共にジェンダー平等に向けて船を進めました。同じテーブルには多様な方々がおり、考え方の違う人や、相手の知らないことも多い中で、話を進めていく過程で、真剣に考え、想いを伝えあい、目標に向けて進みました。

**なぜ貧困が起きるのか？**

- ・教育の不平等
- ・賃金の格差（極度の資本主義化）
- ・歴史的に旧植民地などは支配構造から抜けられない
- ・優劣をつけたがる

みんなで考えました！

**なぜジェンダーギャップが存在するのか？**

- ・男性中心の政治が続いている
- ・マイノリティの意思決定者が少ない
- ・想像力の欠如（弱い立場を理解できない）
- ・地域の習慣（男が企画、女が片付け）が残っている
- ・無意識の偏見（アンコンシャスバイアス）
- ・戦後の成功体験や、それを利用した政策をしている

**貧困とジェンダー平等は密接な関係がある！？**

加藤さんは、世界の貧困状況のマップと、ジェンダーギャップ指数のマップを比べることで見えてくるものがあります。日本のジェンダーギャップ指数125位ということで、他の先進国に比べて遅れをとっています。これを改善していくために、個々で出来ることは何かを考える必要がありますと説明。



幅広い世代がいて、色んな意見が出ましたね



個人で出来ることの例として、買う前に、貧困地域や児童労働で成り立っている商品かどうかを見定めることや、ジェンダー平等に向けて取り組んでいる企業や団体を支援するというのも一つの方法。アンテナを立てて情報を得ながら、出来ることからやっていきましょう。と講座を締めくくりました。

↑加藤さんが回った世界各地のお土産を現在展示中です。



＼見てみて、地域のあんな人、こんな人／

内閣府男女共同参画局が発行している広報誌「共同参画」8月号に大館市御坂町内会で女性の活躍を推進する会長 越前 貞久氏が登壇した「令和5年度地域における男女共同参画推進リーダー研修」が紹介されています。

研修会の詳細はNWECCのホームページで。自治会という男性中心で進んできた活動に女性が参画することで、変化が起きているというお話をしました。地域の女性リーダー育成事業で秋田県内を回り講演を行ってきたことがきっかけで登壇することになりました。

令和5年度秋田県男女共同参画社会づくり表彰ハーモニー賞を受賞するなど、先進的な事例として評価されています。



## 女性の健康相談窓口

秋田県では、女性の健康に関する悩み相談を無料で行っています。電話相談の他にもLINE相談、メール相談もあります。

【電話相談】毎週月曜～金曜（土日祝日は除く）  
15時から18時まで

〈専用電話〉080-8607-2128

※相談時間以外是对応できません

※電話通話料は自己負担となります。

## 子どものSOSの相談窓口

文部科学省で紹介している相談窓口です。家族のこと、友達のこと、先生のこと、まずは相談してみましょう。



24時間子供SOSダイヤル（通話料無料）

なやみいおう  
0120-0-78310

## 令和5年度「あきたの男女共同参画推進会議」

■令和5年9月24日（日）13:00～17:00

■秋田県生活総合文化会館「アトリオン」

■あきたF・F推進員、秋田県女性人材登録者、市町村男女共同参画担当者、秋田県男女共同参画センター職員等



申込みQRコード

### 【事例発表】

横手市における男女共同参画事業の取り組みについて/横手市職員 石橋 菜穂子 氏  
あきたF・F推進員としての地域活動について/あきたF・F推進員 長谷川 聖史 氏

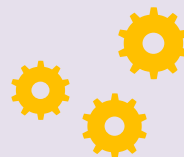
### 【基調講演】

令和時代のジェンダー平等～持続可能な地域社会を目指して～/

国立女性教育会館NWECC 理事長 萩原 なつ子 氏

### 【分科会】

- ①「男女共同参画を語る“さんかくカフェ”」
- ②「キャリア形成のためのメンタルの整え方」
- ③「誰もが暮らしやすいまちづくりワークショップ」



北部男女共同参画センターでは分科会①を担当します。近年、男女共同参画やジェンダー平等を考える話題が日本中、世界中で議論されています。日々のなぜ？をぎくばらんに話し合い、情報交換や交流、学びのアップデートになれば幸いです。

